

衛藤晟一首相補佐官が動画サイト「ユーチューブ」に投稿した国政報告で、昨年十二月の安倍晋三首相の靖国神社参拝後に失望声明を発表した米国に「むしろわれわれが失望だ」と批判していたことが十九日、分かった。菅義偉官房長官は同日の記者会見で「(衛藤氏の)個人的見解だ。日本政府の見解ではない」と説明。衛藤氏には電話で「補佐官は内閣の一員だ」として取り消しと動画の削除を求め、衛藤氏も応じた。

# 衛藤補佐官「靖国」声明を批判

衛藤氏は記者団に、首相の靖国参拝について「(米国の)理解を得られなかったので、期待外れと言った」と説明。自らの投稿内容に関しては「誤解を与えるなら取り消す」とした。

菅氏は記者会見で、日米関係に及ぼす影響について「今日取り消したことを考えれば、そんなにないと思う」と述べた。

その菅氏は最近、政府に



首相補佐官 内閣の重要政策について首相に直接、助言するの役割。官邸機能強化の一環として、1996年に設けられた。内閣法は上限を5人と規定。現在は5人のうち政治家が3人、官僚出身者が2人。衛藤晟一氏は「国政の重要課題担当」。

# われわれが米に失望

## 菅氏指示で発言撤回

衛藤晟一首相補佐官が動画サイトへの投稿で、安倍晋三首相の靖国神社参拝に関し言及した部分の要旨は次の通り。

一、米国が「失望した」と表明したが、むしろわれわれが失望した。米国はちゃんと中国にもものが言えないようになりつつある。声明は中国に対する言い訳にすぎない。

### 衛藤氏 発言要旨

一、安倍政権は、民主党政権で崩れた日米関係修復に非常に大きな力を割いてきた。米国は同盟関係にある日本をなぜ大事にしないのか。

一、昨年十一月に訪米し、ラッセル米國務次官補らに首相が参拝した場合の理解を求めた。総じて言えることは「慎重にやってくださった。」

さい」というのが(米側の)全体的な空気だった。

一、昨年十二月初め、在日米国大使館に行き「首相が参拝したときには、できれば賛意を表明してほしいが、無理なら反対しないでほしい」と伝えた。首席公使からは「慎重に」という言葉が返ってきた。

悪影響となりそうな発言が飛び出すと「個人的見解」を持ち出し、政権への批判をかわそうとしている。

菅委員の百田尚樹氏が、東京都知事選挙候補者の応援演説で「南京大虐殺はなかった」と発言。中韓両国などが反発すると、菅氏は

言を「個人的見解」として、内閣の統一見解とは違うと言いたいのだろう。公私の使い分けは企業にもある。でも、政治家はどんな職業より公的性格が強く、個人としての言動は制約されているはずだ。

衛藤氏は公職で国民の代表だから、個人的発言など本来あり得ない。NHK経営委員もNHKは公共放送だから、公職みたいなものだ。(談)

### 都築勉 個人の見解通用せず

菅氏は最近、政府に悪影響となりそうな発言が飛び出すと「個人的見解」を持ち出し、政権への批判をかわそうとしている。菅氏は最近、政府に悪影響となりそうな発言が飛び出すと「個人的見解」を持ち出し、政権への批判をかわそうとしている。

## 首相の靖国参拝批判

### 自民副幹事長 中国メディアに

「あくまでも個人的な問題」と繰り返し、首相の任命責任に及ばないように努めた。

首相を補佐する立場の衛藤氏は、だれでも閲覧できるインターネット上で米国の批判した。さすがに「個人的」との説明だけで事態は収拾できず、発言の撤回要請に追い込まれた。(大杉はるか)

元防衛庁長官で、自民党副幹事長の中谷元・衆院議員が、安倍晋三首相の靖国神社参拝について「日中両国の関係発展から外れた表現」と、批判と受け取れる発言をしたと中国メディアが伝えた。

「日本が軍国主義を追求しているわけではない。日本の国民は受け入れない」と説明。「(日本が)他国に引き起こした厄災は忘れてはならない」と話した。

中谷氏の事務所は、本紙の取材に「発言内容が正確に引用されておらず、別の記事による」と、中谷氏は

### 星の爆発

雪害の速やか

古屋圭司 九日の衆院

えを示した 定されると

雪の重み ハウス倒壊

兵庫県 国想定

南海